

7月度の景色

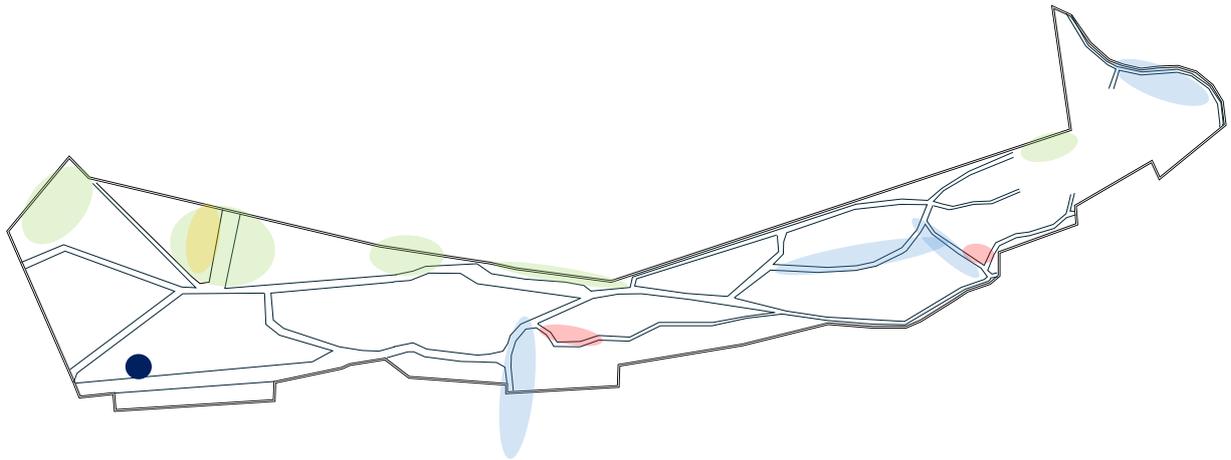


ヤマユリが開花しました。草丈が1~2mにもなる大型の植物です。花も径20cmほどと大きく、その姿は林内でひとときわ目をひきます。ヤマユリは日本原産のユリで、比較的日当たりの良い山野の斜面などでよく育つと言われています。武蔵台緑地では、緑地保全ボランティアの皆さんの活動エリアのほか、斜面上部で見ることができます。

業務の実施内容

- ・ 外来種・園芸種の選択除草
- ・ 実生木と常緑樹の選択除去（北側境界の中低木の間引き伐採）
- ・ 遊歩道脇の草刈
- ・ 武蔵台緑地保全ボランティアとの協働
- ・ 植生調査
- ・ 巡回
- ・ 投棄物の回収清掃

作業箇所図



- 実生木・常緑樹の選択除去
- 保全植物周辺の選択除草
- ササ刈り
- 遊歩道脇の草刈
- 支障木の伐採

保全植物周辺での選択除草



フタリシズカの植生エリア



キツネノカミソリの植生エリア

保全植物の植生エリアで繁茂するササ類やつる植物、実生木を除去しました。

実生木と常緑樹の選択除去



作業前



作業後

昨年度にトウネズミモチを中心とした常緑樹を伐採したエリアです。今年度は段階を進め常緑樹に加え落葉樹も選択的に除伐し、地面に光がより多く当たるようにしました。



作業前



作業後

このエリアでは地面の日陰は維持しつつ、選択的除伐を実施しました。エリアごとの現況に応じて、手法や程度を変えて手入れをしています。

支障木の伐採



斜面において、植物は光を求めて斜めに伸びていきます。ここでは、傾きが大きくなって通路にせり出してしまった樹木を伐採しました。

実生木等の選択除去（北側境界の中低木の間引き伐採）



作業前



作業後



作業前



作業後

敷地境界では、隣地の林で繁茂したクズなどのつる植物が樹木の枝を伝って武蔵台緑地に進入してくる状況でした。これを防ぐために境界沿いの中低木を伐採し、進入の足掛かりとなるものがない緩衝帯となる空間を設けました。

後継樹の育成



コナラなどと共生しているキンランの生育地周辺で、これらの樹木が次々と枯れています。キンランの生育環境を守るため、コナラ実生木の育成をしています。コナラ実生木を覆うつる植物やその他の実生木を選択除去を行いました。

市民協働

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。 今月はマヤランやヤマユリの周囲で繁茂するササやつる植物などの刈り取りを実施しました。



ヤマユリに絡んだつる植物を取り除きます



発生材はバイオネストに運んで分別します

ボランティア団体のイベントにおいて、自然観察ツアーの案内役を務め、武蔵台緑地の魅力について解説しました。

イベント情報 「武蔵台緑地の魅力発見とボランティア活動」



バイオネストでの枝葉の分解や虫のすみかにもなることを解説



幹に虫がたくさんいるクヌギの木
なぜ虫たちが集まるのかな

植生調査

こまめに観察・記録をし、開花時期や新たな生育場所などの情報を市役所やボランティア団体に共有しています。



マヤラン



シラヤマギク



コヤブタバコ



ホタルブクロ



アキノタムラソウ



フジカンゾウ 花と実

緑地内で出会った動物



ノコギリクワガタ



ノコギリカミキリ



アカボシゴマダラ (特定外来生物)



甲虫が集まるクヌギの幹

巡回 隣地からの倒木・落枝



枯損木の倒伏



枯れ枝の落下

巡回 投棄物の回収



昆虫ゼリーや昆虫誘引のための仕掛けの放置が多くみられます



ダウンジャケット



リボンを巻いて担いできたと思われる幹



放置自転車



残土